

はばたき

橋北小学校
学校だより

No. 14

(学調特別号)

令和元年9月30日

4月に行われた全国学力・学習状況調査（6年生対象）について、本校の子どもたちの学力の傾向と特徴、並びに課題とその改善策等についてお知らせします。

① 学力調査にみられる傾向や特徴

今年度より、国語・算数ともに、活用型中心とする出題形式に大幅な変更がありました。学力調査結果をもとにして、各教科・項目のプラス面や課題となる面で顕著なものをあげました。

② 学習や生活の状況（児童質問紙回答から）

学習状況や活動の様子の結果をもとに、日々の学習課題の改善・克服のためにどのような取り組みが必要であるのかをあげました。

学力・学習状況調査では、その結果から、個々の児童のどこに課題があるのかをしっかりととらえ、今後の取り組みを進めることが何よりも大切であると考えております。このことを踏まえながら本校では、めあて・ふりかえりを明確にし、「わかった」「できた」などの声が聞こえるような授業づくりに努めてまいります。また、子どもの学力は、学校での授業はもちろんですが、ご家庭での学習が相まってこそより一層向上します。ご協力をお願いいたします。

なお、この調査によって測定できるのは「学力の一部」であり、「学校教育活動の一側面」であることをご理解の上、ご覧ください。



1 学力調査からみられる傾向や特徴（○プラス面 ●課題となる面）

【国語】

全体的な傾向

「話すこと・聞くこと」の領域においては、全国平均を上回る結果となりました。「読むこと」の領域については、ほぼ全国平均並みです。「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」と「書くこと」の領域では、知識に弱さがみられましたが、身につけている知識を活用して書く力はついています。

具体的な特徴



- インタビューの様子を踏まえ、仕事への思いや考えに着目して心に残ったことを書くことができています。
- 話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめる力がついています。
- ことわざの意味を理解して、自分の表現に用いることができています。
- 話の展開を踏まえた上で、自分の知りたいことを目的に応じて、相手が答えやすいように質問が工夫できています。
- 既習漢字の活用に課題がみられます。
- 似ている表現で違う内容を指しているものについて、正しく判断する問題に課題がみられます。
- 事実と感想、意見などを区別すること、目的や意図に応じて書くことに課題がみられます。
- 提示された条件や字数に応じて文書をまとめて書く力に課題がみられます。

【学校では】

- ・漢字の定着のため、熟語で覚えたり、該当の漢字を短文とともに意味を含めて習得したり等の工夫をする。
- ・ペアやグループでの話し合い活動を通して、友だちの意見を自分の考えと比べながら聴いたり、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫したりする力をつける。
- ・「スーパー橋北っ子」の中の、「みて、きいて、伝えよう」を意識した授業展開に全校で取り組んでいく。
- ・設問の内容を正しく読み取るために、助詞の使い方等を意識した指導に努める。
- ・条件や字数を意識した文章を書く力を育てる。

【ご家庭でも】

- ☆お子様のノートやプリントなどをみていただき、これまでに学んだ漢字や表現が使われているかを気にかけてください。
- ☆単語ではなく、文章で会話ができるように心がけてあげてください。
- ☆学習した後は、やったところを見直す習慣がつけられるようお声かけください。

【算数】

全体的な特徴

「数と計算」の領域については、全国平均を少し上回りました。問題形式において、短答式は全国平均を上回りましたが、記述式では、「数量や図形についての知識・理解」について課題がみられました。



具体的な特徴

- 加法と乗法の混合した整数と小数の計算を正しくすることができます。
- 減法の計算の仕方を解釈し、適用することができます。
- 棒グラフから資料の特徴や傾向を読み取ることができます。
- 複数の資料から目的に応じた必要な数量を選び、立式することができます。



- 記述式の問題に弱さがみられます。特に「○○の言葉を使用して書きましょう」のような問題で、算数用語の理解ができていない部分があります。
- 示された図形の面積の求め方を解釈し、その求め方の説明を記述することに課題があります。
- 台形の特徴をとらえることに課題がみられます。
- 二つの資料の特徴や傾向を読み取り、それらを関連づけて考え、判断し、その解答の理由を記述することに課題がみられます。

その解答の理由を記述することに課題がみられます。

【学校では】

- ☆四則計算の定着をめざして、計算プリントやドリル学習を取り入れ、児童のつまずきに合わせて、アドバイスをしていきます。
- ☆図や数直線などを使って問題を解決する活動を多く取り入れて、それを活用できる力をつけていきます。また、グラフや図に数値を書きこむ等の習慣をつけさせさせることによって視覚化を図り、子ども達が、より具体的に問題の意図を理解しやすいような授業に努めます。
- ☆既習事項（公式やきまり）の何を基にすれば問題が解けるかを考えたり、自分の考えを表現したりする力を高めます。友だちの考えを聴いて、共有したり話し合ったりする場面を設定します。

【ご家庭でも】

- ☆日常生活の中で、「買い物」「同じ数ずつ分ける」「何倍にする」「割合」など、算数で学習したことを活用する場面がたくさんあります。生活の中に「算数」が使われていることに気づかせてあげてください。

2 学習や生活の状況（全国学力・学習状況調査の児童質問紙回答から）

学習について



○国語について、ほとんどの児童が「国語の勉強は大切」「将来、社会に出た時に役立つ」と考えています。また、「国語の授業で学習したことを、普段の生活の中で、話したり聞いたり書いたりするときに活用しよう」と考えている児童が全国・三重県平均を大きく上回りました。

○算数について、ほとんどの児童が「算数の勉強は大切」「将来、社会に出たときに役に立つ」と考えています。算数の問題の中の、言葉や数、式を使ってわけや求め方などを書く問題について、「すべての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した」児童が全国・三重県平均を大きく上回りました。

○問題の解決に向けて自分で考え、自分の考えをうまく伝えるために資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表することができていると感じている児童が全国に比べて多いです。問題解決学習に取り組んできた成果ではないかと考えます。

- ☆「最後まで解答を書こうと努力した」児童が多いことや、無回答率の少なさから、学習に対して前向きに努力しようとする姿がみられます。今後は、活用の幅を広げるために、基礎的な力の定着や学習した内容を日常生活の中で活かすことのできる授業を目指していきます。
- ☆話し合い活動の時間を確保し、友だちの意見を聴くことで自分の考えをまとめるヒントを得たり、自分の考えを広め、深める経験を積み重ねたりすることで、さらに自信を持たせていきたいと思いをします。
- ☆全教科を通して、条件や字数を設定した中で、自分の考えをわかりやすくまとめる活動を取り入れていきます。

自分自身について

○多くの児童が、「将来の夢や目標を持っている」「人の役に立つ人間になりたいと思う」と答えており、将来的に社会に貢献したいという意識が高いと考えられます。また、ほとんどの生徒が「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについてわかるまで教えてくれる」と答えており、教師とのつながりの強さがみられました。

- ☆「人の役に立つ人間になりたい」と多くの児童が答えており、自分の持てる力を人のために発揮しようとする姿がうかがわれます。さらに、自分のことを好きになったり、自分自身を認めたりする気持ちを育てていきます。そして、将来への夢や希望が持てるよう、キャリア教育をすすめていきたいと思いをします。



家庭学習について

- 家で計画を立てて勉強をしている児童が全国平均や三重県平均に比べて多くなっています。
- 平日の放課後、また、週末に家庭学習や読書に使う時間は、全国に比べて非常に少ないです。

- ☆自分で計画を立てて家庭学習に取り組んでいる児童が多くいます。家庭学習の内容の充実に努めながら、学習時間を増やしていくよう声かけをお願いします。
- ☆さらに力を伸ばしていくためには、学校で出された課題にとどまらず、自分で学習課題を選んで学習をすすめる自主勉強に積極的に取り組んでほしいと思います。
- ☆全国的に、家庭における学習や読書の時間が学力に反映されているという結果が出ています。ご家庭で意識して取り組んでいただくことが大切かと思われます。

生活について

- 全員が「きまりを守る」「いじめはどんなことがあってもいけない」と考えています。
- ほとんどの児童が朝食を食べる習慣がしっかりと身につけています。
- 5年生までに地域のことを調べたり地域の人と関わったりする機会を多くとってきたため、地域や社会のことに対して高い関心を持っています。
- 新聞を読んでいる児童の割合は、全国平均、三重県平均に比べて高いです。
- 家の人と学校での出来事について話をする児童の割合は、全国平均、三重県平均に比べて高いです。
- 毎日同じくらいの時刻に寝たり、起きたりしている児童の割合は、全国に比べて低いという結果がみられました。
- 授業時間以外に読書をする時間は、全国平均、三重県平均よりやや高い結果となっていますが、読書が好きな児童は、全国平均、三重県平均をやや下回ります。



- ☆起床時刻、就寝時刻等の生活習慣をしっかり身につけることによって、生活リズムや体調が整い、学校生活において、学習により集中できたり、積極的に運動や遊びに取り組むことができたりすると思います。ご家庭のご協力をよろしくお願いいたします。
- ☆社会の出来事に関心を持ち、知識を増やすために新聞や読書の機会を増やすとともに、それらを話題に会話をするとよいかと思えます。ご家族と同じ話題やテーマについて共有し、考えや感想などを交流することによって、より興味関心を持って読書等に取り組むことができると思います。

